

# う い ま き こ 宇井真紀子さんからのメッセージ

1992年からアイヌ民族の撮影を続け、写真展や写真集で発表してきましたが、全国に暮らすアイヌの皆さんの現状を伝えきれないもどかしさを感じていました。そこで、全国津々浦々で、それぞれのライフスタイルでこの時を生きるアイヌの人たちの「今」を伝えたいと思い、100か所で100組を撮影して写真集を編むプロジェクトを2009年に立ち上げました。

撮影場所、時期、服装は全て被写体となったアイヌの方に委ね、次の被写体となる人を推薦してもらいながら、北は網走から南は奄美大島まで7年間をかけて撮影しました。

撮影時には「今一番言いたいこと」を尋ねています。その100の言葉と100枚のポートレートを行き来することで「アイヌのいま」を感じていただけたらと思います。

【令和4年度様似町アイヌ政策推進交付金事業】

【様似町開基220年・町制施行70周年記念事業】

## プロフィール

写真家。

1960年千葉県生まれ。1983年武蔵野美術大学卒業。1985年日本写真芸術専門学校卒業。写真家・樋口健二氏に師事し、フリーランスとして活動を開始。1992年からアイヌ民族の取材を始める。第1回笹本恒子写真賞受賞。日本写真芸術専門学校講師。武蔵野美術大学非常勤講師。主な著作に『アイヌ、風の肖像』（新泉社）、『アイヌ、100人のいま』（冬青社）、『伝え守る アイヌ三世代の物語』（少年写真新聞社）など。



宇井真紀子写真展

アイヌ  
100人のいま